

口から食べる喜びを 取り戻した！

身体の衰えが現れたとき、病院での入院生活を思い浮かべる人も多いだろう。だが、病院は治療を目的とした場所である。ゆとりある日常生活を送りながら、身体機能の回復を図ることはできないのか。その理想を追求する、未来倶楽部の新ホームを訪ねた。



広々とした6階の食堂。見晴らしも良い

未来倶楽部三郷駅前

高齢者の生活に医療は欠かせない。しかし、入院と自宅療養の繰り返しは、高齢者にとっても支える家族にとっても負担が大きい。平穏な日常生活を過ごしながら身体機能を回復する、それは介護に携わる人間全員の願いであるはずだ。千葉との県境に位置する、

埼玉県三郷市。12年4月、未来倶楽部三郷駅前（以下、三郷駅前）がオープンした。「看

医療、介護、リハビリそれぞれに強いホームの三者間で連携を深め、生活状況に合わせて施設間での移動も可能にするという。

**日常生活の中で
身体機能が回復する喜び**

三郷駅前では、附設クリニックの医師が主治医として平時も検査・診察を行い、必要が生じた際、スムーズに総合

病院の治療が受けられる体制となっている。また看護職員が経管栄養、胃ろう等の対応を行っているため、他のホームでは受け入れづらい医療依存度の高い症状でも入居が可能だ。

言語聴覚士による判断を得ながら、段階的に経口摂食が進められたという。また、頻繁に行われるレクリエーションや入浴サービスも、入居者の生活意欲を刺激したのでは、と奥谷さんはみる。

**土に触れる体験が
生み出す効果**

未来設計のホームではこの他に、園芸活動にも力を入れている。三郷駅前でも屋上に庭園を設け、苗の栽培を始めた。「他ホームでの実績から、土に触れることは認知症の予防、生活機能の改善にもつな

がっていると感じます」と小宮さん。さらに千葉県九十九里浜近くに自社農園「みらい元気農園」を設け、各ホーム共通の収穫体験・バーベキューツアーも行ったとのことだ。ホーム全体、グループ全体での生活サポートが、一般的な生活のリズムをもたらし、身体機能も回復するという好循環を生み出しているようだ。

リハビリ・医療対応で 生活機能が改善



温かな生活空間の中で笑顔が絶えない



居室には大きなクローゼットもある



リハビリのための共有スペース



専門スタッフによる運動レクリエーション

回復の過程では、主治医やご本人もご家族も、大変喜ばれていました」

様々な症状を持つ 人に対応

(未来倶楽部三郷駅前)



下記のような方も入居可能です



※状況によりお断りする場合がございます。
※末期癌の対応も可能です。ご相談下さい。



医療依存度の高い人にも、24時間常駐の看護職員と附設クリニックの主治医が対応



三郷駅前施設長・奥谷悦子さん(左)と未来設計・小宮夏さん

色とりどりの花で飾られた屋上庭園。入居者の育てた苗が植えられ、さらに緑化が進むはずだ

